

①

のり面緑化用獣害対策工法
アニマルガード工法

NETIS
CB-110023-A
掲載期限終了技術
特許 第3940422号



のり面荒廃の原因は、**食害と踏み荒らし**。
新発想の構造体と
高い技術力（特許取得）で、
のり面の植生を守ります。



植物の
生長点・根を
守る

のり枠や
植生マットとの
組み合わせが
可能

目合いが
広がらない
特殊金網

豪雪地や
シカ密度の高い
地域での
適用も可能
(強化型)

平成22年に開発された「アニマルガード工法」は、緑化工をシカ被害から守る最も確実な方法として、道路のり面や治山工事で広く採用されています。植生工の施工箇所を専用の台座と特殊金網で覆うことで、シカの侵入の抑制と食害による植物のダメージ軽減を図る工法です。のり面上で容易に施工でき、なおかつ確実に植生を保護する特許工法です。



ネット台座「ハイトキーパー」
のり面の凹凸に対応しながら、スカイクロスネットを約23～28cmの高さで均一に浮かせます。シカが侵入した際もシカの荷重を一点に集中させない資材です。載荷試験では標準型～約2.0kN、強化型～約2.5kNの荷重耐力を有しています。オスシカの体重（約80kg）以上の荷重に耐えることができます。



格子型結束金網「スカイクロスネット」
金網の縦線と横線の交点を特殊な編織方法で仕上げています。金網の目を広げようとしても交点が強固に固定されているため、金網の交点がずれにくい構造が特長です。

被害状況 食害と踏み荒らしによる植生の衰退。

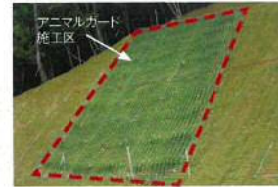


植生基材吹付工



植生マット工

施工事例



広島県

②

日植の
イノシシ害抑制野芝工
イノセイバー[®]

平成27年度 新工法

野芝とネットを一体化させ、イノシシの掘り返しから緑地を保護します



野芝と特殊ジオテキスタイルが一体化した『イノセイバー』をネットピンで連結。外周部には掘り返し・めくり上げ防止処理を併用することにより、イノシシ害を抑制します！

施工前



外周部イメージ

イノセイバー

ネットピン

ブラピン大

見切材

グリットネット

標準規格

名称	製品規格		材料	
	幅	長さ	ネット	芝
イノセイバー	1.05m (0.90m)	3.00m (2.80m)	特殊ジオテキスタイル	野芝

※()内は差付け法

名称	製品規格		材料	
	幅	長さ	材料	
各タイプ共通	ネットピン	W=20mm L=60mm H=42mm	再生ポリプロピレン(100%リサイクル)	
標準タイプ	見切材	L=2,000mm、固定ピン付属	高密度ポリエチレン(リサイクル樹脂)	
	ブラピン大	L=235mm	高密度ポリエチレン(リサイクル樹脂)	
ネット埋込みタイプ	グリットネット	W=1.05m L=30m	基布:ポリエステル系 被覆材:アクリル系熱硬化樹脂	

①アニマルガード`施工 岩手県・遠野市区



獣害対策アニマルガード①遠野地区.JPG



獣害対策アニマルガード②遠野地区.JPG



獣害対策・アニマルガード`試験施工①.JPG



獣害対策・アニマルガード`試験施工②.JPG

②イノセイバ`施工 岩手県・一関地区河川築堤 5ヶ所



イノセイバ`製品・一関地区河川築堤.jpg



イノセイバ`施工後①一関地区.jpg



イノセイバ`施工後②一関地区.jpg



イノセイバ`周辺の被害.jpg